



発行：ボーイスカウト石川県連盟
石川県金沢市平和町 1-3-1
石川県平和町庁舎内
発行責任者：野田 政弘
編集責任者：宮東 剛文
平成 29年 3月 31 日発行

Scout Voice

【安全セミナーに参加して】

金沢第10団カブ隊
副長 中澤利昭

平成 29年 2月 5日に、野々市市中央公民館で開催された「第6回安全セミナー」に参加しました。私は、春にカブ隊副長として登録を行い、秋に小松市で開催された「ウッドバッジ研修所」に参加、年が明けて「安全セミナー」に参加することができました、このように順調に研修に参加して自身のスキルアップができたのは、支えてくださる守山団委員長はじめとした、金沢第10団の指導者のみなさんと、妻のおかげだと思い非常に感謝しています。

さて、肝心の研修についてですが、「安全」については大きな研修の一部であったものが、あえて「安全セミナー」として別枠にされていることから、意識して学ぶ必要があると感じておりました。もちろん私自身意識するだけでなく、指導者として登録した後は、日赤の救命救急員の資格講習を受けたりと、保護者のみなさんが安心して大事な子供を活動に送りだしてくれるように努力してきたつもりです。しかし今回の研修を受けて感じたのは、「事故が起きてから」ではなく「事故が起こらないように」が基本であるといった事でした。もちろん今までも活動中は、スカウトに目を配り、自身も注意して行動していたつもりです。しかしながら、研修の中では「プログラム作成時も安全を考え」、「安全な活動」を行う為に自隊の指導者だけではなく、団全体で「安全に取り組む」考え方を教えて頂きました。残念ながら私の中では、30年前の自分のスカウト活動の楽し

い思い出が、前に出てしまっており、多少の危険については仕方がないと考えていた部分があったようです。「ワクワク、ドキドキの活動」を取り違えていた部分もあった様に思い反省しています。

現代のスカウト活動は、日々変化する様々な社会環境に対応する必要があります。研修の中で出てきた「安全の三原則」では、安全が最優先であり、教育などにより自分を守るようになり、ルールを守る事により危険を避けることを学びました。この考え方を改めて教えて頂く事により、私自身「安全」に対する考え方を考える事になりました。これからも、今回のようにセミナーや研修等に参加して自己研鑽に努め、スカウトはもちろんまわりの指導者のみなさんと共に、楽しく活動を続けていきたいと思えます。



(2月5日開催「安全セミナー」の一場面)



プログラムレポート

【B-P 祭】

日時：平成 29 年 2 月 19 日（日）10：00～

場所：JA 小松市板津支店板津多目的研修センター

2 月 19 日、天候は晴れ、2 月の北陸では珍しく春の日差しである。2 年ぶりの B-P

